



自律・感謝・貢献

R8.09

Autonomy, gratitude, and contribution

文化祭から得るもの

校長 菅原 学

▼一生懸命、準備したことが伝わってきました。
▼とても心がこもっていて感動しました。
▼合唱がとても上手になっていて感動しました。
▼少人数の学校ということもあり、先生方の出番もある、生徒との距離が近い文化祭が魅力です。来年度からは体育館での開催となりますが、魅力ある発表を今後も繋いでいってほしいと願っています。

9月18日に行われた文化祭、参観いただいたみなさまからの声の一部です。今年度は、長年にわたり本校の文化祭に彩を与えてくれた「芸術ホール」で開催する最後の文化祭でした。ご来場いただき、温かい拍手を送ってくださったみなさまに、改めて厚く御礼申し上げます。

ステージ上で発表された表現の数々は、どれも目を見張るものでした。工夫を凝らした実行委員会による開閉会式、函館市平和大使に参加した学びの報告、心の在り方を伝えた英語暗唱、各学年による創意に富んだ学習発表、会場全体を豊かな響きで包み込んだリコーダー部の演奏、各クラスが練習の成果を結実させた合唱。どの発表からも、生徒たちの真摯な思いが伝わってきました。

生徒のみなさん、芸術ホールでの最後のステージ、大変お疲れさまでした。仲間と意見をぶつけ合い、時に悩みながらも一つのものを創り上げたあの時間は、かけがえのない財産です。歴史あるホールの最後をこれ以上ない形で締めくくってくれたみなさんの姿を、大変誇らしく思っています。

文化祭を終え、学校にはいつもの静かな学びの時間が戻ってきました。今回の取組で培った集中力や仲間との絆、そして「やり遂げた」という自信は、次の目標に向かうための大きな力となるはずです。行事という「点」の経験を、これからの学校生活という「線」へとつなげ、一層成長していくみなさんの姿を楽しみにしています。

さて、秋が深まるこれからの時期は、次の学年や進路を見据えてじっくりと学問や自己研鑽に打ち込む絶好の機会です。大きな成果を上げた今だからこそ、一人ひとりが次の目標を明確にもち、1日1日を大切に積み重ねてほしいと期待しています。

結びに、生徒たちの挑戦を温かく支えていただきました保護者並びに地域のみなさまに深謝いたしますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

